

鳥取市議会建設水道委員会会議録

会議年月日	令和6年4月11日（木曜日）		
開 会	午前10時0分	閉 会	午前11時39分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席委員 (8名)	委員長 勝田 鮮二 副委員長 加藤 茂樹 委員 水口 誠 雲坂 衛 魚崎 勇 足立 考史 太田 縁 吉田 博幸		
欠席委員	なし		
委員外議員	寺坂 寛夫 議員 岩永 安子 議員		
事務局職員	庶務係主幹 石田 久美子 議事係主任 稲田 直		
出席説明員	【都市整備部】 都市整備部長 山根 陽一 次長兼都市企画課長 河田 耕一 まちなか未来創造課長 筒井 真二 まちなか未来創造課長補佐 河上 大輔 次長兼道路課長 田村 温 道路課課長補佐 田中 裕史		
傍 聴 者	4人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時00分 開会

【都市整備部】

◆勝田鮮二委員長 それでは、定刻になりましたので、閉会中の建設水道委員会を開催いたします。

本日、2月の定例会の委員会の中で、鳥取駅周辺再整備基本計画のパブリックコメントを出す前に、この委員会の委員と意見交換をしたいという話も、委員のほうからも出ていまして、せんだって、3月の28日に、地元紙に大きく掲載されました、鳥取駅周辺再整備の新イメージ図ということが記載されていました。これは、3月27日に、企業や交通事業者、有識者などでつくる、鳥取駅周辺リ・デザイン会議が開催されまして、その中で、駅前のにぎわいを生み出す広場、さらには、利便性を高めた高架下のバスターミナルのイメージ図案などを盛り込んだ基本計画の最終案を示したというような形で報道をされています。その後、この委員会で、いろいろ意見交換をしたいと思っています。そして、4月22日から、パブリックコメントを実施すると、おおむね1か月。その後、6月に策定をし、2024年～2025年にかけて、具体的な整備計画を策定するという形、それから、おおむね5年間で、整備設計・施工をしたいというよう

な案が、一応示されております。

それで、今日は、そのパブリックコメントの前に、私たちと、意見交換及び質疑があれば、質疑というような形で運んでいきたいと思っております。

本日の日程は、お手元に配付のとおり、都市整備部より、2件報告を受けますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、山根都市整備部長に挨拶いただいた後、人事異動等で替わられた方には、自己紹介をいただきたいと思っております。それでは、山根都市整備部長、お願いします。

○山根陽一都市整備部長

はい。皆さん、おはようございます。このたび、4月1日の異動で、都市整備部長を拝命いたしました山根陽一でございます。閉会中にもかかわらず、本日は、委員会を開催していただきまして、どうもありがとうございます。

一言、御挨拶を申し上げます。私、本庁勤務が、平成24年度以来ということでございまして、その間は、下水道部であるとか、南工事事務所といった出先での勤務をしておりました。直近の10年余りは、下水道事業の経営に携わることが多くて、都市整備部で進めております施策については、勉強中の部分もございまして、幸い、都市整備部には、ここにおります次長・課長をはじめとした優秀なスタッフがおりますので、彼らと力を合わせて、主にインフラ整備からの面から市政を支えてまいりたいと考えておりますので、当委員会の皆様には、引き続き、御指導、御鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

さて、本日は、先ほど、委員長さんのほうからお話ありましたけども、2件の報告をいたします。1つ目が、鳥取駅周辺再生基本計画（案）についての意見交換ということでございます。昨年1年かけて取りまとめた、リ・デザイン会議で取りまとめました案について、意見交換をさせていただきたいと思っております。

2つ目が、3月14日に発生しました公用車による接触事故について、再発防止も含めて御報告をいたしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 河田課長。

○河田耕一次長兼都市企画課長 すみません。この4月より、都市整備部次長兼都市企画課長を拝命いたしました河田と申します。よろしくをお願いいたします。

◆勝田鮮二委員長 そのほかは、お替りないですか。

（「もう一人」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 田中課長補佐。

○田中裕史道路課課長補佐 このたび、4月の人事異動で、下水道管理室から道路課へ参りました田中です。よろしく申し上げます。

（「以上です」と呼ぶ者あり）

◆勝田鮮二委員長 お願いします。

鳥取駅周辺再生基本計画（案）について（説明・質疑）

◆勝田鮮二委員長 それでは、報告に入ります。鳥取駅周辺再生基本計画（案）について、説明

をお願いします。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。よろしくお願ひいたします。資料のほうは、資料1を御覧ください。

この鳥取駅周辺再生基本計画（案）につきましては、3月27日に開催しましたリ・デザイン会議での資料となります。現在、その会議での議論を踏まえまして、駅周辺の交通課題などにつきまして、少し加筆修正を行っておるといったような状況でございます。本日の委員会で頂戴をいたしました御意見等も、必要に応じて、この基本計画に反映をさせていただきたいと思っております。そして、先ほど、委員長さんから御報告ありました、4月22日からパブリックコメントを行いますというような予定にしております。

ページ数が40ページほどございますので、説明は、主要なポイントに絞って説明をさせていただきたいと思っておりますので、御了承ください。そして、ページ番号は、右上の赤字の番号で御確認をさせていただきたいと思っております。

それでは、最初に、全体の構成について説明をさせていただきます。資料のほうは、3ページ、お願ひいたします。まず、1番目に、作成の目的や、計画の位置づけ、そして、対象の範囲を示しております。そして、2番目に、駅周辺の現状と課題の整理を行いまして、3番目に、その課題の解決に向けた再整備のビジョンをまとめてございます。そして、4番目に、そのビジョンを実現するための再整備の基本方針ですとか、イメージをまとめております。そして、最後5番目に、今後のスケジュールと併せまして、今後の検討課題についてまとめていくといったような構成にしております。

次に、7ページをお願ひいたします。こちらに、計画の対象範囲を示しております。対象範囲は、下の図の赤色の点で囲んでおります鳥取駅の北側、そして、南側エリアとしておまして、整備用地の権利関係につきましては、主に鳥取県、そして、JR西日本、鳥取市の3者となっております。

次に、12ページをお願ひいたします。こちらのページに、課題の整理をしております。まず初めに、麒麟のまち圏域の視点での課題をまとめてございます。文章としては、真ん中のところにまとめてございますけれども、本市、中心市といたしまして、経済、観光、交流、防災の拠点機能の対応が、今後求められているといった点でございますし、その中心拠点であります鳥取駅周辺の課題につきましては、バスターミナルですとか、駅前の広場、歩行空間など、整備から約半世紀以上が経過しておりますので、老朽化が進んでいると。それに併せて、利便性も低下していると。そして、そういった今の時代のニーズに合った対応が求められているといったような点を、このような形で整理をしております。

次に、17ページをお願ひいたします。この17ページと18ページにかけまして、課題の解決の方向性についてまとめております。内容につきましては、昨年の12月の定例会の際に説明した内容と大きな変更はございませんが、基本理念といたしましては、令和3年3月に策定をしました、鳥取駅周辺再生基本構想の理念であります「人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OACIS』の創造」という形で踏襲をいたしまして、目指す将来像につきましては、「次の

50年へ。未来創造ステーション「ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ」としてございます。そして、この将来像に基づく基本コンセプトでありますとか、再整備の重要な視点を、記載のとおり設定しております。そこから、モータルコネクトの強化でしたり、にぎわい創出の拠点づくり、回遊性・滞留性の向上など、課題解決の方向性を、このような形で示してございます。

次に、20ページをお願いいたします。20ページは、先ほどの課題解決の方向性に基づく基本方針をまとめてございます。まず1点目に、現在分散しております交通機能を集約していくといった点、そして、2点目に、にぎわい広場や歩行デッキなどの整備によりまして、駅からまちなかへ、にぎわいをにじみ出すような空間を整備していくといったような点と、そして、3点目に、市民が集いたくなる利便施設、そして、公共公益施設の整備を目指していくと、そして、最後4点目に、民間による多機能な複合施設の整備を目指していくといったような、大きく4点の基本方針を掲げてございます。

次に、23ページをお願いいたします。こちら、先ほどの基本方針に基づく、全体の整備イメージになります。こちらのイメージ図も、本年2月の定例会の際に説明した内容と、大きな変更はございません。駅高架下を利用いたしまして、バスターミナル、そして、駅南北の交通広場を集約していくといったようなイメージにしておりますし、駅ホームから、2階レベルで複合施設にアクセスできるようなイメージにしております。また、広場につきましては、大屋根を整備いたしまして、悪天候時でも、イベントとか催しが開催できるようなイメージとしております。そして、その広場とバード・ハットを歩行デッキでつなぎ、一体的なにぎわいを創出するようなイメージとして仕上げさせていただきます。

次のページからが、基本方針の詳細になります。25ページをお願いいたします。こちらに、イメージ図を掲載してございますけれども、このイメージ図につきましては、高架下の交通広場のイメージ図となります。特徴的には、未来感を出すために、次世代モビリティを中ほどに描いておりますし、あと、鳥取市らしさを出すために、バスでありますとか、歩行空間に、風紋のデザインを加えてございます。そして、また、高校生でありますとか、障害者、子育て世代など、多様な人々が利用しているような、にぎわっているようなイメージで描いてございます。

次に、28ページ、お願いいたします。こちらのほうにも、イメージ図を載せていますけれども、こちらは、デッキや広場のオープンスペースの整備イメージとして、1階レベルから見た広場空間のイメージ図となります。少し見づらいですけど、左奥に、バード・ハットが見えるように描いておりまして、まちなかとの一体的なにぎわいを感じていただけるような内容で描いてございます。

下のほうには、広場整備の参考になりそうな他都市、姫路駅ですとか、福井駅、そういった他都市の写真も掲載して、分かりやすいようなイメージをしやすいように、このような写真も掲載をさせていただいております。

次に、29ページ、次のページ、お願いいたします。こちら、まちなかへの回遊と滞留機能の強化のイメージといたしまして、2階レベルから見た広場ですとか、バード・ハット周辺につ

ながる歩行デッキのイメージ図となります。

下にも、他都市の参考写真といたしまして、姫路駅の前の広場ですとか、徳山駅前のデッキですとか、そういった写真も掲載をしております。

次のページ、30ページお願いいたします。こちらは、基本方針3の市民が集いたくなる利便施設・公共公益施設の整備の詳細な内容でございますけれども、公共公益施設の整備の方針につきましては、この中の具体的な施設の中に、文化機能の充実といたしまして、官民間わずに、様々な施設と、親和性の高い図書機能、展示機能、ホール機能、こういったことを、候補案として追加をしております。

続いて、34ページをお願いいたします。34ページは、再整備によります期待される効果についてまとめております。文章の中ほどからでございますけれども、この再整備につきましては、駅にとどまることなく、まちなかを含めた周辺地域へ、広範囲に波及効果を及ぼすことが期待されますと。その効果につきましては、短期的に発現する直接効果に加えて、中長期的に波及する効果、さらには、将来、地域へ及ぼす影響として広がり、目指す将来像の実現へつながっていくといったようなまとめにしております。

下の図は、そのイメージ図として、駅から、このまちなかへ、この緑の矢印になりますけれども、効果が波及していくようなイメージを示しております。その周りには、他都市の参考となるような写真も掲載をしております。

それでは、次に、36ページをお願いいたします。36ページ～38ページにかけては、学生、そして、子育て世代、観光客といったような、今回ターゲットにしている、特に学生とか、子育て世代、若い人たちの仮想的な人物、ペルソナといたしますけれども、こういった仮想人物を設定いたしまして、再整備による具体的な駅の活用イメージをまとめております。再整備によりまして、この鳥取で、わくわくしたライフスタイルが送れる、そのようなイメージとしてまとめております。本年度、こうした内容をたたき台にいたしまして、学生の皆さんや子育て世代の皆さんと、この駅周辺の在り方ですとか、再整備後の使い方について議論を重ねまして、将来像の未来創造ステーションの理想形を、一緒につくり上げていきたいというような取組を進めてまいります。

次に、39ページをお願いいたします。こちらが、スケジュールをまとめております。構想段階から管理運営段階までのスケジュールとなります。少し小さくて、大変恐縮ですが、現在は、この緑で網かけをしておりますステップ1のところに該当をしております。構想段階といたしまして、基本計画の策定に取り組んでおるといったような状況でございます。そして、4月の22日から、パブコメの実施をいたしまして、6月をめどに策定を完了する予定としてございます。

そして、次のステップ2につきましては、計画段階に移りまして、基本計画を基に、駅周辺の交通量調査だったり、サウンディング調査、そして、関係機関との協議などを重ねながら、整備方針ですとか、整備手法などをまとめた、整備計画の策定に取り組んでいくようなスケジュールとしております。おおむね2年を想定してございまして、令和7年度中の策定を目指していくといったようなスケジュール感にしております。

そして、最後、40ページ、お願いいたします。40ページにつきましては、今後の検討課題といたしまして、これまでのリ・デザイン会議での意見を反映しております。大きく3つに分けて整理をしております。まず、市民・地元関係者との継続的な対話という項目でまとめてございますけれども、再整備後におきましては、多くの方に、この駅周辺に訪れていただくために、中心市街地の活性化や、地域に調和したデザインによる施設整備といった視点で、市民や関係者の皆さんと一緒に検討していくと。さらに、計画段階から、広場などの公共空間の使い方も検討していくことが大変重要であるといったような点でまとめてございます。

次に、まちづくりの担い手と管理・運営の一体的な在り方ですけれども、新たに整備する、その施設が、持続的に更新・発展していくために、まちづくりも含めた一体的なマネジメントを行う組織の重要性でありますとか、特に、複合施設につきましては、民間投資を誘導することに加えまして、公共公益施設の再編・統合、そして、収益確保が見込まれる駐車場の施設の導入などにつきましても、その可能性も含めて、関係機関ですとか、民間事業者の皆さんと対話しながら進めていくことが、大変重要であるといったような点でまとめてございます。

そして、最後に、適切なニーズなどの把握につきましては、こちら、今後の具体的な整備計画の策定に向けまして、幅広く、民間事業者などを対象に、サウンディング調査を進めていくといった点ですとか、鳥取駅を中心とした、中心市街地全体でのそのウォークアブルな在り方ですとか、老朽化した公共公益施設の再編・統合など、各種のそのまちづくりの計画ですとか、基本方針ですとか、そういった整合性や調整に取り組んでいくことということを、このようにまとめてございます。はい。

説明は以上になりますけれども、今後、県ですとか、JR西日本さんですとか、あと、交通事業者さん、さらには、投資をいただける民間企業との協議ですとか、対話を重ねながら、次の段階であります整備計画の策定に、スピード感を持って注力をしてまいりたいというふうに考えてございます。委員の皆様におかれましても、引き続き、御指導、御支援を賜りまして、一緒になって、この大きなプロジェクトを進めさせていただきたいと思っておりますので、御協力のほどをよろしくお願いいたします。説明は、以上でございます。

◆**勝田鮮二委員長** それでは、説明をいただきました。

委員の皆様から、質疑等ございましたら、発言をお願いいたします。ございませんか。

◆**勝田鮮二委員長** 足立委員。

◆**足立考史委員** おはようございます、足立です。お世話になります。この、今提案された内容等々について、まだ、専門家なり、リ・デザインのメンバーさんと進められると思っておりますので、私たちは、質問より、今日のこの会議が、この日になったという、この計画性ですかね、議会に対する報告の手順っていいですか、この時期に急遽集合という、この流れに対して、言い方悪いですが、議会軽視のような、よく議会の中で言われますけど、そのようなスタンスを少し感じておまして、市報が4月号に出る、この原稿は、当然、ある程度、日程前で準備されるでしょうし、リ・デザインの3月28の会議じゃなくて、その前の会議から、すぐ新聞報道で、我々は、特段、詳しく情報知らない中で、市民のほうに情報が先行し、いろんなやり取りがもうできない状況という場面になったかと思っておりますけど、これに関しての今後の委員会で

のこの計画性といいますか、委員会に対してのこれからのスケジュール的な変更点といいますか、注意事項、もし、改められるところがあれば、教えていただけたらと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい、ありがとうございます。今回のこの基本計画の策定の進め方につきましては、まずは、リ・デザイン会議を踏まえまして、そういった専門家の皆さんですとか、特に、市民の皆さんの御意見等につきましては、これまで各種アンケート調査ですとか、昨年度は、駅周辺での実証実験におきまして、駅利用者の皆さんと、当然、市民の皆さんでの御意見も頂戴しながら、このリ・デザイン会議で、そのデータを反映させていただきながら、このような基本計画案をまとめさせていただいたという進め方でございます。

当然、このリ・デザイン会議の内容につきましては、会議が4回開催されたわけですが、これまでの3回までの会議につきましては、全て、この委員会のほうで、開催内容ですとか、委員の皆さんからの意見も、報告を共有させていただきながら、その上で、委員の皆様からの御意見も頂戴しながら、反映できるところは、この基本計画案に反映をさせていただいたという進め方をさせていただきました。

今回のこの今日の委員会の報告のタイミングが遅かったのではないかなという御指摘であると捉えさせていただきましたけども、この段階になったということは、まずは、3月27日のリ・デザイン会議が開催されたという日程と、その後、本来でしたら、今日、この内容も、その前回の会議の意見も反映した形で、委員の皆様にお示しをさせていただきたかったんですけど、その修正の日程も、ちょっと確保させていただきたいという点がございましたので、今日の開催になったといったような、言い訳になりますけど、そのような、はい、進め方になったという点でございます。

我々も、当然、議会の皆様と一緒に、この大きなプロジェクトは、当然進めていかないといけないという点は、重々承知をしております。今後の進め方につきましては、今日、委員会で、この会で、委員の皆さんから、当然、今日説明して、すぐ何か御意見を頂くというのは、非常に困難であろうと思っておりますので、また、今日、御意見が頂けないという状況でありましたら、この後、また資料を熟読していただきながら、またパブコメが22日までになりますので、その間、若干ちょっと1週間ぐらい猶予がございますので、何か御意見等ございましたら、まちなか未来創造課のほうに御連絡をいただきまして、基本計画のほうに反映をさせていただきたいなというふうに思っております。

その後につきましては、4月22日～5月13日まで、パブコメの実施をいたしますので、その間にも、委員の皆様からも、ぜひ、そのパブコメに御意見を頂けたら、当然、基本計画案のほうには反映をさせていただきますので、そういったところでも、御意見を頂戴できたらなというふうに思いますので、はい、よろしくお願いいたします。はい、以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 足立委員。

◆足立考史委員 はい、ありがとうございます。要するに、今回の委員会の設定が、ある程度、資料をまとめるために、時間が必要だということで理解はしますが、そういう、委員会を開催するために猶予が要るとか、これから、またリ・デザイン会議があり、それをまとめられて、

またこの委員会を開催するというときに、議会中であればスケジュール的に立てやすいが、閉会期間中に委員会を開催しなければならないという予定があらかじめ立つのであれば、どれぐらいの時期に委員会を持ちたいと投げかけるなど、ちょっと気配りをさせていただくと、スケジュール的に助かりますということをつけ加えさせていただきます。以上で終わります。

◆勝田鮮二委員長 意見ということだね。

◆足立考史委員 はい。

◆勝田鮮二委員長 はい。そのほかございますか。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい、太田です。すみません。はい。資料1の20ページにありますように、取組の方向性ということで、この駅前の再整備ということは、多くの市民、我々が考えても、必要なことだろうというふうには考えておりました。しかしながら、今回、リ・デザイン会議さんのほうで示されてきた案が、少し、その複合的な施設の整備であるとか、ハード整備に、すごくシフトしてきているようなイメージがあります。

したがって、集約型交通ターミナル、こちらのほうは、当然必要だというふうには考えておりますけれども、その4番目の方針に、一足飛びに飛んでいくっていうのが、やはりちょっと私自身としても、じゃあ、もろ手を挙げて大賛成ですということがなかなか言いかねる、それは、前回の委員会でも申し上げましたけれども、総額の予算が見えていない。

それから、資料の40ページにありますけれども、一体的なマネジメントを行う組織が重要であると、そういった組織が重要であると認識されながら、その組織の具体性が見えないというようなところもあります。

再整備のスケジュールもありますけれども、39ページですかね、この1年で、この方針を全てまとめていくっていうのが、えらく駆け足なように思えるんですけども、この辺り、このスケジュール感、どうしても、このおおむね1年程度というふうに、資料の39ページにありますけれども、まず、この1年というところの、今までも御説明はいただいておりますけれども、この複合施設が入ってきたということもあって、この1年に、どうしても限らないといけないうような、速度というんですか、そこについては、どうお考えでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。これは、おおむね1年ということなので、当然1年では、目指していく方向性ですけども、これが2年に、当然、これからのパブコメを、御意見も踏まえたと、ひょっとしたら、ずれ込んでいくっていう可能性も、当然あると考えています。

これまで、この令和3年3月に策定を行っています、駅周辺の再生基本構想も、1年、その前段でも、官民連携会議を立ち上げまして、様々な議論を行っている、前提がございまして、それを踏まえて、当然、今回の基本計画の策定に臨んでいます。ゼロベースからでは、当然ございませんので、過去の何年間にわたる、その基本構想の作成も踏まえまして、今回、基本計画に臨んでいます。そういった前段階での取組も含めまして、おおよそ、他都市でのこういった取組も研究をしまして、大体、おおむね1年ぐらいで、こういった大きな方向性は決め

られるのではないかとといったようなことも踏まえまして、このように、おおむね1年程度というような記載をさせていただいたところでございます。

ですので、あくまで、これは目標でありまして、決定事項でも当然ございませんので、これから様々な御意見を頂きながら、整理が、恐らく1年、こういう場面も出てくるのかなと思えますが、その辺は、しっかりと御意見を頂戴しながら進めさせていただきたいと思えます。必ずしも、その1年で終わらないといけないという条件ではございませんので、その辺は、しっかりと、はい、御意見等頂きながら進めさせていただきたいと思えます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい。今、前段階での取組というお話がありました。私も、ここ、議会に出させていただいてから、数年おりますので、その経過というのは、自分なりに認識はしているつもりですけれども、どうぞ、市民の方には、その経過といいますか、経緯、当然、この市庁舎がこちらに動いてきて、そして、中心市街地のエリアも広がっていったとか、中心市街地の基本構想ですね、そういったエリアが広がってきたのか、検討してきた中身とか、そういったことを、もう少し分かりやすく御説明いただかなければ、何とか、こう不意に、ぽっと出てきたようなイメージが、市民の方には、どうしても、この将来のイメージするような絵ですよ、それが先行してしまうと、何か突然、降って湧いたような話になってしまうので、そこら辺は、もう少しきちんと説明をしていただきたいと思います。

もう一つです。やはり、この交通ターミナル機能再生ということで、再度、これも申し上げていますが、どういふふうに、公共交通を整備していくのかっていう、まずは、これが、もう少し全体構想が見えなければ、例えば、先日、自動運転に乗せていただきましたが、その自動運転の車が見やすい信号でありますとか、歩行者動線でありますとか、そういったものが、全てに関係してくると思えます。ということは、もう少し、この全体の交通、公共交通政策を、今以上に見えてこない、なかなか、このバスターミナルだけができて、あれ、バス来ませんよねというようなことになりはしないかという懸念を非常に感じております。その辺りの整合性というか、バランスといいますか、どのようにお考えなのかお示してください。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。交通、ターミナルの整備計画の検討に、具体的な検討に入っていきますけれども、その検討に当たりましては、当然、その公共交通計画という、既存の計画がございまして、その公共交通計画も、改定の時期を本年度迎えます。その中で、新しい、そういった自動運転ですとか、次世代モビリティの観点も、しっかり盛り込んでいかないといけない状況にありますので、あわせて、今後、利用がどんどん減少傾向にある中で、最適な、やっぱり交通ネットワーク、公共交通ネットワークの整備をしていかないと、もういけないタイミングに入っております。委員さんからも、毎回の委員会の質問でも、御意見等も頂いてございますけれども、そういった公共交通計画の改定と併せて、この駅周辺のこの交通ターミナルの整備も並行して、関係者の皆さんと情報共有を図りながら、そごがないように、一緒になって取り組んでいくといったような方針で、今進めております。はい、以上でございます。

◆太田 縁委員 はい。並行してということですが、どちらかというと、先行してというふうに要望したいと思います。

それから、ペルソナ層の駅への集客というようなイメージがあるようではありますが、現在、鳥取市内の高校を見ますと、やはりスクールバスを利用されている学校が、たくさんであります。その中で、これは、もう本当に、いわゆる公共交通が充実していないため、独自で考えられていることだとは思いますが、こういったことも、今後どうあるべきなのか、あるいは、どうしていくほうが、その学校にとって、あるいは、通う生徒さんにとって、どうするのがいいのか、そのペルソナ層を駅にということであれば、ちょっとこう、現状とは少し離れているのではないかなというふうには感じているところですが、その辺りは、どのようにお考えですか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。城北高校さんですか、青翔開智さんがスクールバスを運行されてございますけども、あれは、やっぱり、学校側のサービスの向上的にされている取組かなというふうには認識してございますし、あわせて、やはり中山間部での学生さんの移動の確保するために、必要な取組として、やっぱり学校側でされているのかなと思います。

先ほど、委員さん、おっしゃられるとおり、公共交通の利便性っていうのは、かなり低下はしていると、これの背景には、やはり運転手不足が一番の要因であろうというところで、市としても、そういった路線の維持に関して、多額な補助金を投入しながら、維持・確保に努めていますけども、それでも、恐らく、高校生とかの利便性を考えると、それでは対応し切れてないっていうのが現状だと思います。これからさらに、こういった駅再整備をする点で、そういった公共交通の利便性も高めていくっていうところは、やはり、この大きな課題解決の方向性で示したモーダルコネクットの強化といった点で示しております。そういったモーダルコネクットの強化に向かいますと、当然、公共交通機関や行政だけではできませんので、その辺は、学校さんがどこまで協力を、すみ分けができるかっていう点は、今後の議論になろうかなとは思いますが、限られたこの輸送手段を、当然フル活用していかないと、恐らく移動の、こういった地方都市での移動の確保っていうのはできないのであろうなと思いますので、まずは、そういった拠点を、この駅周辺で整備を行いまして、あとはソフト的なネットワークっていうのも、当然、道路っていうインフラと併せて、その運行体制は、そういったところも、当然、見直していく時期であろうなというふうに思います。

例えば、松江市さんですとかは、交通局を早い段階で整備をされています。そういったところも、恐らく検討に入っていないといけない時代であろうなというふうに思いますので、そういったところも、改定を迎えますその公共交通計画で、しっかりと検討していくといったような考えで今おります。はい。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい。やはり、先ほどから並行してとおっしゃいますけども、交通計画、早急に進めていくということが必要だと思います。

それから、各学校が、サービスとして行っておられる、利便性の低下が認識できているんだと。じゃ、この利便性の低下が認識できているところをね、長年において、行政として、政策として向かってこなかったっていうところが、大きな課題であると思います。今の状況が、別に、学校さんの取組がいい、悪いとかっていう問題ではなく、本当に大切なことだと思います。

ただ、やはり若桜鉄道であるとか、どうしても、お客さんの取り合いではないですけど、そういった現実があるっていうことも重々認識されていると思います。ですから、何度も言いますけれども、並行してではなく、まず本市が、どういう公共交通の在り方を目指しているんだと、希望でもいいですよ、目指しているんだという方向が見えないのに、バスターミナル整備します、駅を整備しますと言っても、なかなか説得力がないのではないかというふうに思いますので、そこはぜひ、先行して進めていく中で、その状況で、全体の整備、ハード整備、建物整備が多少遅れようとも、ここが一番大事なところじゃないかというふうに、私自身思っておりますので、そのことはお伝えしたいと思います。

最後に1つです。麒麟のまち圏域という言葉がたくさん出てきます、この資料の中で。そして、麒麟のまち圏域の市町村、特にこの鳥取市東部ですね、にある市町村、先ほどの通学のことも含めて、あるいは、その方々の足のことも含めてですけども、こういった麒麟のまち圏域の市町村の方々の意見は、どのように伺っていきこうとされているのか、また、現在どういう状況なのか、お示しただけたらと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。圏域の住民の皆さんの意見の集約っていうところにつきましてははですね、取組につきましては、本年度から、圏域の連携事業に、このプロジェクトを位置づけております。新規事業として位置づけております。そこで、関係市町村、市町の、市・町ですね、が集まったプロジェクトチームを立ち上げるようにしてございます。そこから各町の住民さんの意見聴取もしていくような取組を、各町でお願いをしていくといったような進め方をさせていただきます。その意見につきましては、当然、この基本計画の段階ではなくって、整備計画のほうに反映をしていくと、より具体的な計画の中に反映をさせていただくような進め方をさせていただくといったような考えをしています。

この基本計画につきましては、あくまでも構想段階ということで、大きな方向性を当然示していくものですので、そんなに、市民や来街者の意見聴取っていうのを、これまでも何遍もやっていますので、大きな方向性としては、そんなには変わらないのであろうなというふうに認識をしております。ですので、麒麟のまち圏域の住民の皆さんの御意見とかの聴取につきましては、本年度、各町にも連携をしていただきながら、取組を進めていくといったような、はい、計画にしてございます。以上です。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい。各住民さんの意見っていうことは、今後、パブリックコメントを同じように、その市町村の、いわゆる町として、いわゆる町長と申し上げたほうがいいのか、その市、町、町というふうに申し上げたらいいのかですけども、その町とは、どのように意見聴取、

やっぱりその町にも、基本計画の段階では、意見をまだ聴取していないのかということをお示してください。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。基本計画のこの原案につきましては、まだお示しはしてございません。ただ、今までのリ・デザインでの取組の状況につきましては、報告はさせていただいています。今回パブリックコメントが実施をしまするので、その情報につきましては、担当されているそれぞれの町の担当者の皆さんにはお知らせをさせていただいています。はい。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい。鳥取市が中核市に移行していく段階、あのときに、保険証の問題がありましたね。保険証も4町が入ってこられるというか、4町も、鳥取市のほうでということがありましたけれども、やっぱりそのときも、少し後先のようなお話を町のほうからは、町長等、以前の町長等からは伺っておりました。ぜひ、ちょっと後出し的にならないように、やっぱり同じ土俵で話ができるような場を、ぜひ、各町ですね、これだけ、中核市になり、麒麟のまち圏域で、鳥取市が牽引していくという意識をお持ちならば、早い段階で、やはり鳥取市としてはこういうふうを考えているんだと。それについて御意見も頂戴しながら、御協力もいただくというような、まず、そういった姿勢が見える進め方をしていかなければ、できました、見てくださってということでは、やはり反対の立場からすると、町村に対しても、多くの意見を頂けないのではないかとこのように考えますので、その辺りはもう少し配慮をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。その辺も含めまして、プロジェクトチームの中で、しっかり議論をしまして、御意見を伺いながら進めさせていただきたいと思います。はい。以上です。

◆勝田鮮二委員長 そのほかございますか。雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 失礼します。先ほど足立委員からも、議会軽視ではないかという御意見がありました。部長さん替わられてですね、先ほど、その回答が、課長からの回答が、ありがとうございました、だったんです。最初の一言がですね。なので、そこところが引っかかったり、自分は、呉市に行って進めてきたことも、前、お伝えしましたけれども、そういった中で、議会軽視のところも、他都市でも、進めている中で感じていまして、要は、特殊な開発、公共工事ではない開発の仕方をされていて、あと、基金をつくって、国交省の関係団体に入れるような懐もあってですね、そこは議会の議決が要るので、そこはあるんですけども。要は、今回の基本計画が、どこまでの縛りがあるのかあれなんですけども、そういったことも心配をして、足立委員さんも言われたんだと思うんですけども、部長さんの、新たに、新しくなられたということで、なおかつ、前回の委員会で、吉田委員さんから意見があって、何で議会にこう説明がないまま、報道があるんだというような指摘で、パブコメ前に、今回も説明があったということですけども、4月5日にはパブコメするというようなことも発信されていて、先ほど、

言い訳という言葉も使われましたけれども、議会軽視の再発防止の必要性を、部長さんからもお聞きしたいなと思ったところでもあります。

議会としては、公平性・妥当性・必要性の観点から、予算・決算、市民の代表として来ているので、先ほど、一緒になって進めていくというところでは引っかけがありまして、一緒ではなく、市民の代表の議員・議会、そして、その中の担当委員会として進めていくんですね、そういったところも今後必要になってくる。特に、30ページのホールとか、36ページの図書館とか、えっ、もうここまで来てるのって、実はこの委員会で、何か承認したみたいな形になったら、どんどん進んでいってしまうのでは、それは修正できるっていう話もありましたけれども、言い訳という言葉もありましたので、部長さんのほうからも、議会軽視の再発防止の必要性について、お言葉を頂けたらありがたいと思います。

◆勝田鮮二委員長 山根部長。

○山根陽一都市整備部長 はい。都市整備部、山根でございます。これまでの経過を、先ほど筒井のほうから説明をさせていただきました。決して議会を軽視しているということではないというふうには思っておりますが、結果として、皆様にもそのような思いを抱かせてしまったということについては、おわび申し上げます。

それで、今後は、先ほど足立委員さんの御指摘にもありましたけれども、議会のほうにも、適切な時期に御説明をさせていただきながら、後手にならないように、先に先に御説明をさせていただいて、意見を今回の基本計画に反映させていきたいと思っておりますし、かなり大きな事業となりますので、今後の整備計画をつくるに当たっても、議会の御意見を聴きながら、御一緒に計画づくりのほうをさせていただきたいと思っております。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 はい。議会軽視にならない再発防止の必要性をお聞きした、があるという御認識だったのかなと思いました。その中で、ぜひですね、今回でいくと、第1回のリ・デザイン会議が27日であって、1回修正をしているというようなことでしたね。その後、必要があれば、この委員会、閉会中の委員会以降も修正を受け付けますよという、その透明性が確保されるかどうかというところも不安なところがありまして、やはり市民にとっても、この委員会議事録がホームページで公開されるようになっておりますので、しっかりと、大きな、今後鳥取市に関わる事業ですので、ぜひ、そこは担保していただきながら進めていただきたいと思っております。タイミングを逃さずに、ぜひ、議会に報告していただきたい。

あと、先ほどちらっと言いましたけれども、30ページのホールですね、議会控室でも、まさか、ここにホールっていうようなことを心配される議員もおられまして、まだ説明受けてないけどなっていうような話もありながら、今回書かれていて、図書館もです。自分としては、反対するわけではないんですけども、先ほどの太田委員からも、予算規模が見えない、その妥当性が、今の段階で判断しろ、数字出せっていうのは難しいと思うんですけども、その辺りの進め方、合同委員会ですね、例えばこの建設水道委員会だけでいいのかなのか、これまでのことがあるのか、庁舎内ですね、全庁的に特別プロジェクトチームでしたかね、部長さん方で構成されるようなことがあると聞きましたけれども、その辺り、どういう話になってい

るのか、一応お聞かせいただけたらと思います。

今回の30ページのホール、36ページの図書館、これは、全庁で調整をして書かれていることなのかどうなのか。それと、この基本計画が、どこまでこう今後縛りが出てくるものなのかどうなのか、確認したいと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。30ページのとこの、その文化機能の充実のところでお示ししている、その候補案につきましては、あくまでこれは、リ・デザイン会議での意見で、今現在、その中心市街地で、文化施設4つですね、これを再編・統合していこうというような動きも踏まえられまして、このリ・デザイン会議からの提案だったというところがございますし、この図書館ではなくて、図書機能ですね、これは、恐らく館ではなくてですね、販売であったりってところも踏まえて、委員の皆さんから、視察に行かれた徳山駅ですかね、そういったところ視察を踏まえられて、やはり、こういった駅には、親和性の高い図書機能があったら、当然学生さんも利用がしやすくなるだろうと、そして、複合施設の集客効果にも、当然、相乗効果があるだろうと、そういった視点で、こういったものを入れられたほうがいいんじゃないですかというような意見を踏まえて、盛り込ませていただいたという経緯でございます。こういったリ・デザイン会議からの意見を踏まえまして、内部での特別部会も、これまで6回開催をさせていただいております、そういったところでも、情報、内部でも情報共有させていただきながら、内部で、こういった機能が、やはり駅周辺に集約していくほうが、恐らく将来的にも、にぎわい創出につながるんじゃないかというような議論を踏まえまして、このたびの基本計画の原案に盛り込ませていただいたというような、はい、経緯でございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 はい。全庁でのその6回の会議も踏まえて、ここを記載しているということを確認できました。これを、議会として説明するのは、今回初めてですか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。これまでの委員会、この委員会での報告を、3回をさせていただいておりますけども、その内容で、文化ホールっていう書きぶりで、第1回目の会議、第2回が終わった後ですかね、の委員会のほうでは、そのような形で報告はさせていただいておりますけども、こういった展示機能、ホール機能、図書機能っていうのは、今回のこの会が初めてでの報告となります。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 説明が、ほかの委員会も、説明をしっかりとあるかどうか、公共施設の床面積とか、そういった計画もあったかのように思います。その整合性とかですね、そういった辺りも、全庁で調整をして、あえてこう出しているんだと。それで、その辺りの説明が議会にあったのか、それが妥当なのかどうなのかとか、その辺りの説明がないと、心配している議員がおられたので、この計画、基本計画に出てきているその文言を見たときに、もうここに書かれていて出てきて、ここの場で議員がこう意見を言わないと、もうこれが進んでいってしま

うのか、先ほど聞いたのは、この計画がどこまで縛りがある、なのかということも踏まえて、教えていただけますか。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課、筒井です。今回は、あくまで基本計画、これは構想段階という位置づけになりますので、これを、必ずしも実現をしないといけないというような内容ではございません。これから当然パブコメをかけまして、意見も当然頂きながら、最終の基本計画に整理をしていくといったような段階であるといったようなところでございます。

FMの観点の関係は、これまで、2月の議会でしたかね、一般質問でもあったと思います。その答弁の中でも、これからどんどん老朽化していく、当然、中心市街地の4つの文化施設につきましても、それを集約していくといったような考え方で答弁をさせていただいております。その場所につきましては、まさにこれから議論をしていくと。文化施設のほうにつきましては、在り方の基本方針を本年度まとめたといったところで、まだ、その整備する候補地については、本年度、議論して決定をしていくといったような段階でございます。

ですので、そういった、今回、あくまでこれは候補案として記載をしていますので、これを必ずしも実現をするといったような段階ではないといったところで、御理解をいただければいいかなと思います。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 はい。決して、反対するわけではなくて、自分も、以前に大規模ですべきだと。ただ、今、バスタを使うかどうかは懸念があるとは、前、お伝えしましたけれども。要は、この建設水道委員会だけで足るのか、合同委員会の開催の必要性があるのか。今聞いたのは、ほかの委員会でも説明をしっかりと、こう出しているのかっていうのをお聞きしたんですけど、ちょっと皆さんがうなだれているので、もうこんぐらいにしたほうがいいのかなど思いますけれども、要は、この委員会の重圧といいますかね、今回の何億もかかる規模のこの計画が今回出てきているので、その進め方に関連してお聞きをしました。ぜひ、その辺りも注意をさせていただいて進めていただきたい、委員長にも、必要であれば合同委員会の開催の検討をお願いしたいと思います。

最後に、意見ですけれども、前回の委員会でも言いましたけれども、ぜひ、経常経費ですね、毎年の経常経費の増額の予測をしてください。呉市に、数名で視察に行ったときに、あえてつくってないんだと言われました。じゃあ議員は、何をもって妥当と判断するのか。これは、つくることが目的ではなくて、つくった後ですね、にぎわいはどうつくっていくのということが必要で、なおかつ、それは、財源も限られているので、特に、この事業だけを見るのではなくて、バス事業者のテナントの料金、これは、公開はなかなか民間のことなのでできないと思いますけれども、鳥取市は、バス事業者に補助金もたくさん出しておりますので、その補助額が増える可能性もあるわけで、そうすると、負担が増えるのが見えづらいということがあります。なので、そういったところも踏まえて、含めて、全体の経常経費の増額予測をぜひ示していただきながら、妥当性を判断させていただきたいなと思います。

◆勝田鮮二委員長 はい。そのほかございますか。

◆太田 縁委員 すみません。

◆勝田鮮二委員長 意見、返答いただけたらありがたいです。

◆太田 縁委員 返答。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課の筒井です。完成後の管理運営も含めまして、それも整備計画のほうの策定の作業の中で、しっかりと検討して、お示しをしていくようにさせていただく予定としています。はい。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 いいですか。

◆雲坂 衛委員 はい。

◆勝田鮮二委員長 雲坂委員。

◆雲坂 衛委員 はい。ぜひ早い段階で、正確でなくてもいいので、太田委員からも、先ほど予算規模が見えないっていう心配の声もありましたので、出せる段階で、議会のほうにお示しいただきますよう要望します。

◆勝田鮮二委員長 太田委員。

◆太田 縁委員 はい、度々。今の雲坂委員のところに関連してなんですけれども、やはり、先ほど、筒井課長のほうから説明がありました、リ・デザイン会議の提案で、内部で協議をして、ホール等、いわゆる文化機能を駅に集約するんだと。鳥取市の提案として、この資料30ページにあるものを提案されているんだと。鳥取市には、従来から文化施設が3施設あって、統廃合をしていくのかというようなことが検討されているんだと。どうしても関連していることだとは考えます。しかしながら、ここのページに、ホールの絵だとかがどうしても出てしまうと、いや、ホールなのかなと。先ほど私も、もともと交通ターミナルの整備から始まったものが、少しくハード整備のほうにシフトしていつているのではないかというイメージがあるというふうに申し上げたの、まさしくこのことで、やはり、今ある施設を、全て老朽化という3文字で片づけてしまうのではなく、逆に分散しているから、そのおっしゃっている、ウォークアブルなまちづくりもできている、今後できるのではないかとか、そういった検討が十分見えないままに、一足飛びにこの絵を見せられると、やはり、ここにホールを造るんだ鳥取市は、というふうに、連想してしまいがちです。なので、課長の説明では、そうではないんだ、文化機能なんだという、図書館かもしれないし、展示施設かもしれないしっていうような、その辺がやっぱり見えてこないというか、イメージがないので、その辺りをもう一度、ホールのみを考えているわけではないという確認をさせていただきたいと思います。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。まちなか未来創造課の筒井です。繰り返しになりますが、あくまで、この文化機能の充実に、お示しした候補案につきましては、これは絶対実現するっていうものではございません。当然、これからの市民の皆さんの御意見も伺いながら、また、鳥取市でのその文化の機能を充実っていうのも、まちづくりの大きな課題になってございますので、そういったところも、十分、これから関係機関、関係課と一緒に、検討を

進めていく上で、本当に、この駅周辺にあるべきなのかっていうところも踏まえまして、さらに議論をしっかりとしていきたいというふうに考えてございます。以上でございます。

◆勝田鮮二委員長 いいですか。

◆太田 縁委員 はい。

◆勝田鮮二委員長 はい。そのほかございますか。いいですか。

◆吉田博幸委員 ちょっと尋ねてみてもええか。

◆勝田鮮二委員長 はい、吉田委員。

◆吉田博幸委員 はい。確たるものじゃないということ、聞きました。それから、22日ですか、パブリックコメントで、市民の方の御意見も聴くというようなことも聞かせてもらいました。だけでも、私が聞きたいのはね、地域や、地元地域や関係機関、民間事業者、これは、どのような方に大体なるだな。具体的に言ってもらわな、何だあ、ぼやっとしとって、わし、よう分からんけども。いや、これで、やっぱり関係機関っていやあ、国やも来るんかいなと思ってみたり、民間だっいやあ、バス会社なんかいなと思ってみたりするんだけども、どのような、具体の、具体のことが分かりゃあ、ちょっと教えてほしいだけど。

◆勝田鮮二委員長 筒井課長。

○筒井真二まちなか未来創造課長 はい。関係機関につきましては、当然、国の支援とかも頂かないといけませんので、国ですね。当然、地権者であります鳥取県ですね。あとは、交通機関は、当然ながら、地元の交通事業者さん。それはバス事業者さんであったり、タクシー事業者さんっていうのを想定しております。あわせて、民間事業者さんにつきましては、当然、地元の商店街も大変重要な存在になっておりますので、商店街の、当然皆さんでありましたり、あとは金融機関の方も、当然、今回の再整備には重要な役割を担っていただく機関でございますので、そういった金融機関の皆さんとは、これからの整備計画をしていく上で、サウンディング調査を実施していきます。そのサウンディング調査で関心を抱いていただいた企業様、民間事業者の皆さんと一緒に、対話を繰り返しながら、実現を目指していくといったようなことを想定しているといったような、はい、段階でございます。はい。以上でございます。

◆吉田博幸委員 はい。

◆勝田鮮二委員長 はい。いいですか。そのほかございますか。以上で、質疑を終結します。

公用車による接触事故について（説明・質疑）

◆勝田鮮二委員長 それでは、次に、公用車による接触事故についての説明をお願いします。はい、田村次長。

○田村 温次長兼道路課長 はい。道路課、田村でございます。公用車による接触事故について報告させていただきます。資料の1の41ページを御覧ください。これは、令和6年の3月14日木曜日、午前10時30分頃、鳥取市千代水3丁目100番地、鳥取警察署駐車場で発生したものでございます。

事故概要といたしましては、道路課の職員が、道路占用に伴う業務で鳥取署を訪れた際に、駐車場の降車時に、ドアが風にあおられ、隣に駐車していた被害車両の運転側ドアに接触し、

塗料が付着し、傷がついたものでございます。

再発防止策といたしましては、乗降時にドアをしっかり手で押さえるなど補助を行い、細心の注意を払うように、職員に注意喚起を行ったところでございます。職員、道路課職員、みんなに注意喚起を行ったところでございます。

本市の対応状況といたしましては、同日、私とですね、財産経営課への報告、あと、警察への届出、あと、相手側との連絡先の交換を行っておりまして、今後は、財産経営課の加入している保険で対応することとしております。以上でございます。

◆**勝田鮮二委員長** はい。説明をいただきました。

委員の皆様から、質疑等ございますか。それでは、質疑なしと認め、質疑を終結します。

本日の委員会は以上となりますが、なります。建設水道委員会を閉会とします。

午前11時39分 閉会

鳥取市議会委員会条例第28条第1項の規定によりここに署名する。

建設水道委員長

建設水道委員会（閉会中）

日 時 令和6年4月11日（木）午前10時

場 所 本庁舎7階 第2委員会室

日 程

1 開 会

2 報 告 事 項

【都市整備部】

- (1) 鳥取駅周辺再生基本計画（案）について
- (2) 公用車による接触事故について

3 閉 会